教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技術分野のガイダンス	1	1			・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)
生物育成の技術の原理	9	生物の育成に適する条件や環境を管理する技術を知る。	・生物を育てる技術の目的について理解している。	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、「技術の見方、考え方」に気づくことが出来る。	・主体的に生物育成の技術について知ろうとしている。
生物育成の技術による問題解決	10	・栽培を通じた学習	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に着けている	・育成する作物に適した環境条件について考えている。 ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。	・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	2	・材料の比較、特徴 ・工具の使用法の理解	・身の周りの製品に生かされている材料の特性と、材料に適した加工方法について理解している。		・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
作品制作	7	・けがき ・材料の切断 ・部品加工 ・組み立て ・製品の点検、修正 ・製品の仕上げ	・製作品の機能や構造を考えた設計をすることができる。 ・使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 ・材料によって構造をじょうぶにする方法が異なることを理解している。	・構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 ・材料の特徴を活かして製作品に用いるために工夫している。 ・製作品の使用目的にあわせて構造の工夫をしている。	・製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。
SDGs関連	6	・3R ・再生可能な材料を知る ・地球温暖化に対する取り組み(ブルーカーボン、グリーンカーボン)	・再生技術の取り組みを理解している。 ・再生可能な材料について理解している。 ・地球温暖化の仕組みとブルーカーボン、グリーンカーボンについて理解している。	・再利用を進めるための工夫を表現できる。 ・地球温暖化の抑制に向けた取り組みを身に着けている。	・新たな取り組みを考え発表できる。 ・地球温暖化抑制に向けた取り組みに参加している。

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製図	5	<ul style="list-style-type: none"> 製図に必要な基礎知識(線の引き方、記号の意味) キャビネット図の描き方 等角図の描き方 第二角法の描き方 	<ul style="list-style-type: none"> 図の特徴を理解しており、正しく描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例題をもとに構想及び形を図で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例題などを意欲的に考え、作図ができる。
木材の性質と特徴	5	<ul style="list-style-type: none"> 材料の特徴 木材の性質 	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの製品に生かされている材料の特性と、材料に適した加工方法について理解している。 木材の特性と特性を生かした利用方法について理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> 主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
木材加工	20	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術による問題解決 	<ul style="list-style-type: none"> 使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 材料によって構造を丈夫にする方法が異なることを理解している。 材料の特徴がわかり製品に適した材料の選び方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 材料の特徴を活かして製作品に用いるために工夫している。 製作品の使用目的にあわせて構造の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。
身の回りの材料と加工の技術	5	<ul style="list-style-type: none"> 木質材料 金属の特徴 プラスチックの特徴 新素材の特徴 様々な材料の比較 	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの製品に生かされている材料の特性と、材料に適した加工方法について理解している。 金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい素材に関する創造性を表現できる 様々な材料の比較を通して、適切な材料選択に繋げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電気の技術	5	<ul style="list-style-type: none"> 身近な電気の利用の理解 電気回路の基本公式の理解 家庭の配電設備の理解 電気設備のトラブルの原因や対処法の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の電気設備の理解及び基本的な電気回路を正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 例題のトラブル等に、原因を究明し、正しく対処することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例などを意欲的に考え、解答を導き出せる。
作品制作(電子工作)	5	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品の理解 製作に必要な工具の取り扱い 電子工作製品の制作 製品の点検、修正 製品の仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な電子部品を理解することができる。 工具や部品の使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 動作箇所の操作法の理解と不具合の原因究明を推測することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> テキストの指示に従って作成することができる。 電子部品の特徴を理解して、正確に取り付けることができる。 製作品の不具合に対処することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。
計測・制御のプログラミングによる問題解決	6	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムとは 問題の発見、課題の設定 計測・制御システムの構想 計測・制御システムのプログラムの制作 問題解決の評価、改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知) 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) 入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思) 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) 計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に情報の技術について考えようとしている。(態) 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) 他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
技術分野の学習を終えて	1.5	<ul style="list-style-type: none"> SDGsと技術との関わり 学んだことを社会に生かす 		<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術の評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)